

城南家保ニュース Vol.24-7

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>



冬場に向けた飼養管理について



今年の夏も猛暑が続き、食欲減退、活力低下を感じられた方も多いのではないのでしょうか。家畜も同様に猛暑の影響を受け、夏バテで体力の消耗をしているかもしれません。

そこで、これから迎える冬場に向けての飼養管理について考えてみましょう。

◇栄養管理について

まずは、体力を消耗している時期ですので、飼料摂取量の減少を予防し体力の回復を促し、日和見感染を防ぎましょう。

・**給餌方法**: 消化がよく栄養価が高く嗜好性の良い餌を朝夕の涼しい時間帯に給与することで摂取量の減少を防ぎ、きれいな水をいつでも十分に飲めるよう確保しましょう。また、補助的にビタミンやミネラルの添加物を給与しましょう。

・**確実な初乳の給与**: 生まれた子牛が免疫を得る方法は初乳以外にはありません。生後6時間以内に2リットル確実に摂取させましょう。また、万が一に備えて、凍結初乳や粉末初乳を準備しておくことで虚弱子牛や母牛の授乳拒否に対応できます。

◇飼養環境について

子牛は皮下脂肪が薄く、体温調節機能が不十分であり、気温が5℃以下になると寒さの影響を受け病気を誘発してしまいます。

子牛の適温域は13～25℃です。

・**隙間風を防ぐ**: 隙間風が体に直接当たると体感温度が低下します（風速1m/秒で4℃減）。

・**子牛の保温対策**: 保温ベストやネックウォーマーを使用しましょう。子牛の寝床は常に乾燥し、敷料をたっぷり入れる、または、お風呂マットなどを活用し、お腹を冷やさないようにしましょう。



◇呼吸器病について

保温対策にばかりに目が行きがちですと換気が不十分となります。その結果アンモニア濃度が高くなり様々な病原体に感染しやすくなってしまいますので、保温・保湿・換気のバランスが重要です。

・**時間を決めて換気をする**: 定期的に換気をしてアンモニア濃度を低減させましょう。有毒なアンモニアガスを吸い込むと、呼吸器粘膜が損傷し呼吸器病を引き起こす原因となります。

・**定期的に消毒を実施する**: 牛舎内の病原体を低減させます。

動物フェスタ '12 が開催されました

9月22日に人吉市の石野公園にて動物フェスタ'12が開催されました。毎年動物愛護週間に合わせ、熊本県獣医師会球磨支部が主催となり開催されます。ここ数年ずっと晴天に恵まれていたのですが、今年は生憎の雨模様にもかかわらず、くまモンも駆けつけ、賑わいを見せてくれました。犬猫のオーナー探しでは、犬は26頭で100%、猫は53頭中23頭で約43%を達成し多くの新たなオーナーさんが誕生しました。ちなみに、犬の候補者は61名でしたので、じゃんけんをしてオーナーさんを決める程大勢の方が希望されました。その他、乗馬やO×クイズ(→右写真)、家保が作成した家畜や獣医師や保健所が作成したペットに関する病気についてのパネル展示と動物の命や病気について考えて頂きたい機会になったのではないのでしょうか。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	9月6日	牛/豚	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	中国	9月11日	家きん	H5N1
	ベトナム	9月3日	家きん	H5N1
		8月10日~8月23日	家きん	H5N1
	台湾	5月7日	家きん	H5N2

(2012年10月2現在)

家畜の異常を発見したら、家畜保健衛生所までご連絡下さい！